

## 第21回院内学習会

# 薬用植物の国内栽培の現状と課題

## ～生薬自給率を上げるために～

2022年2月24日(木)午後3時30分～午後5時

参議院議員会館 B107会議室(地下1階)

漢方薬の効果に関する基礎的・臨床的エビデンスの蓄積が進み、漢方医療が疾病の治療と予防に重要な役割を果たしえることの認識が広がっています。漢方薬の原料である生薬は、その90%を海外(主として中国)からの輸入に依存しています。わが国の漢方医療の持続可能な発展のためには、品質の良い生薬を安定的に確保すること不可欠であり、そのためには生薬の自給率を上げることが求められています。生薬の大部分は植物(薬用植物)を起源とするものあり、薬用植物の国内栽培の拡大を目的とした様々な努力がこの10年間にわたって行われてきましたが、まだ生薬自給率の上昇にはつながっていません。

薬用植物の国内栽培の現状と課題について、薬用植物学の研究者をお招きし、学習会を設けました。

司会 松本恵美子(弁護士・薬剤師)

ご出席議員のご紹介とご挨拶

(10分間)

講師 水上 元

(50分間)

1979年京都市生まれ。京都大学大学院薬学研究科博士課程修了。薬学博士。テキサスA&M大学博士研究員、長崎大学薬学部助手、名古屋市立大学大学院薬学研究科助教授、教授を経て、2014年～2021年高知県立牧野植物園長。専門は薬用植物学、生薬学。現在 名古屋市立大学客員教授、名古屋市立大学名誉教授。名古屋市立大学大学院薬学研究科長(薬学部長)、日本生薬学会会長、薬用植物栽培研究会会長などを歴任。

質疑:参加者の方々からのご質問にお答えします。

(10分間)

事務局報告 食品添加物のGMPに関するアンケート調査結果(中間報告)

(10分間)

\*コロナ禍のため「ささやかな交流会(名刺交換会)」は中止します。

定員:80名(無料) 〆切:2月17日(木)午後5時(資料作成のため、事前にお申込下さい。)

参議院議員 伊藤孝恵事務所

申込先:特定非営利活動法人 食品安全グローバルネットワーク 中村幹雄

〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目2-12 CSビル3階

FAX:06-6305-8614 メール:mikio@nakamura.in 携帯:090-3280-4181